



Shoot the happy memories 幸せを記憶する 3

結婚式の“幸せの記憶”をいつまでも呼び覚ましてくれる“ウエディングフォト”の素晴らしさを多くの人に伝えるべく活動を行っている一般社団法人日本ウエディングフォトグラファーズ協会。そのメンバーが撮影した作品を、被写体である花嫁・花婿様のコメントとともに紹介します。

安道 漢和さん&藤澤 早苗さん

二人の気持ちがあれば結婚式という儀式にさほどこだわりがなかったのですが、どうせ挙式するなら神社でしようと思っていました。実際に紋付き袴、白無垢で神社に行くと、意外に緊張します。普段の雰囲気とは違うからでしょうか。ただ、大勢の方がここから家族を築いたのだと思うと、一人前になるんだという覚悟と決意で身が引き締まりました。しっかりと挙式をして気持ちを改められたのが、本当に良かったと思います。

神前結婚式の魅力



私は神社における神前結婚式の撮影をよく致しますが、その不思議な魅力に毎回惹かれます。「静寂に包まれる神社の中で、人々の鼓動が響き渡る」神様の領域。そんな神様の前で誓うお二人。日本に生まれて良かったと思う瞬間でもある。

三三九度のとき、写真のように新郎を見つめる新婦の顔を見つめることがあります。この瞬間は何度撮影しても、心にぐっとくるものがありますね。

私は長年写真の世界に身を置き、気づいたことがあります。それは「ウエディングの写真こそが私の天職!」。こんなに私の心をつかんだ撮影は他にはありません。だからこそ、これから結婚をされる方々は是非結婚式を挙げて欲しい。

私はまだまだ結婚式の撮影を辞められそうにありません(笑)。

STUDIO KOHTEN
smilehunter (京都)
江幡 幸典

